



学校教育目標 社会に貢献しながら、
自立する生徒の育成
～気づき、考え、実行する～

やまゆり

校訓 「 和 の 心 」

指導重点

- ① 居心地がよく、やる気のある学級集団・学校づくり
- ② 確かな学力の育成
- ③ 豊かな心の育成
- ④ 健やかな身体の育成
- ⑤ 特別支援教育の推進
- ⑥ 生徒の良さを伸ばし、課題を解決するための「連携・協働」の推進

恒例の芸術鑑賞

劇団四季 ライオンキング

12月19日（金）、全校生徒で、劇団四季ミュージカル『ライオンキング』を鑑賞しました。本事業は「道志村子育て支援パッケージ」の一環として実施されたものです。まずは、この機会を与えてくださった関係各位の皆様に、心より感謝申し上げます。

当日、道志中の一行（生徒・教職員・村教育関係者、総勢38名）は、貸切バスで学校を出発しました。昼食は、東京・有明にある「ホテルヴィラフォンテーヌグランド東京有明」にて、ランチブッフェをいただきました。広々とした会場で、和洋中様々な料理を楽しみながら、都会の雰囲気を味わうことができました。

この日は、ちょうどクリスマス直前で、街はイルミネーションや装飾に彩られ、華やかな雰囲気に包まれていました。生徒たちは、都会のきらめく街並みに心を躍らせながら、観劇への期待をさらに膨らませていました。

観劇の舞台となった「有明四季劇場」は、2021年に開場した、劇団四季の専用劇場で、最新の舞台設備を備えています。会場は超満員で、私たちは、1階10列以内の中央席から観劇することができました。舞台の迫力や演出の細部まで、存分に味わえる環境で、生徒たちは、物語の世界に引き込まれていきました。

今回鑑賞した『ライオンキング』は、ディズニーの名作アニメーションをもとにした作品で、世界中で愛され続けているミュージカルです。冒頭の「サークル・オブ・ライフ」で、動物たちが大地に集う場面は圧巻で、舞台全体が生命の躍動に包まれました。雄大なアフリカの大地を表現する舞台美術、力強い歌声、そして、キャストの身体表現は、生徒たちに大きな感動を与えました。

生徒たちは、最初から最後まで心を揺さぶられ、2

時間半の舞台が、あっという間に過ぎました。観劇後には「迫力がすごかった」「動物の動きが見事だった」「また観たい」といった声が多く寄せられました。さらに、終演後のカーテンコールは、何回も何回も続き、観客の熱気と感動が劇場全体を包み込みました。

学園祭とのつながり

今年度の学園祭（文化の部）では、生徒たち自身が『ライオンキング』を題材にしたミュージカルを上演しました。全員が舞台に立ち、プロさながらの演技を披露しました。自ら演じ、歌い、舞台を創り上げた経験と、今回のプロの舞台鑑賞とが結びつき、芸術の奥深さをより実感できたことでしょう。「自分たちの舞台と比べて勉強になった」といった声も聞かれ、学園祭での経験がさらに深まったことが感じられました。

芸術鑑賞のねらいと今後

文化芸術に触れる機会は、日常生活では得難い臨場感を体験させるものです。特に、中学生という多感な時期には、心に響くものが大きく、「豊かな心の育成」に直結します。

これは、キャリア教育にもつながります。舞台の迫力や演出の素晴らしさだけでなく、プロフェッショナルとして活躍するキャストの姿から「どんな人が演じているのだろう」と関心を抱き、将来の生き方を考えるきっかけとなります。

文化芸術に触ることは、その美しさを味わうだけでなく、異なる価値観との出会いの場でもあります。今回の体験を通じて、生徒たちが新たな視野を広げてくれることを願っています。

改めて、この貴重な機会を与えてくださった道志村並びに関係各位の皆様に、御礼申し上げます。今後も、心に残る

芸術鑑賞の機会を設け、地域の皆様とともに、生徒たちの成長を見守りながら、次年度以降も、新たな感動を届けていきたいと思います。

